

# 2009年3月期 上半期決算説明会



**ダイセル化学工業株式会社**  
DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

2008年11月11日

# 目次

## 2009年3月期 上半期実績

業績概要

連結損益計算書

売上高・営業利益分析

セグメント情報

P3～P9

P3

P4

P5

P6～P9

## 2009年3月期見通し

業績見通し

売上高・営業利益の推移と見通し

EBITDA推移

売上高・営業利益分析

セグメント情報

設備投資額推移

減価償却費推移

研究開発費推移

P10～P25

P10～P11

P12

P13

P14

P15～P22

P23

P24

P25

連結貸借対照表

総資産・有利子負債推移

ROA推移

P26

P27

P28

予測に関する注意事項

P29

# 業績概要

単位: 億円

	前上半期	当上半期	増減	増減率
売上高	2,015	2,092	+77	+3.8%
営業利益	161	169	+ 8	+5.1%
経常利益	148	167	+19	+12.8%
当期純利益	69	89	+20	+29.3%
為替レート	120円	105円		

# 連結損益計算書

単位：億円

	前上半期	当上半期	増減	備考
売上高	2,015	2,092	+77	為替による影響 △120
売上総利益	441	452	+11	
販売費及び 一般管理費	280	283	+3	
営業利益	161	169	+8	為替による影響 △28
営業外損益	△ 13	△ 2	+11	
経常利益	148	167	+19	
特別損益	△ 9	△ 10	△ 1	
税金等調整前 当期純利益	140	158	+18	
法人税等、 少数株主利益	71	69	△ 2	
当期純利益	69	89	+20	

為替

120円

105円

# 売上高・営業利益分析

## 【売上高】

単位：億円

	前上半期	当上半期	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	348	389	+41	+47	△6
有機合成	481	538	+58	+20	+37
合成樹脂	853	797	△57	△48	△9
火工品	300	334	+34	+56	△21
その他	33	34	+1	+1	-
合 計	2,015	2,092	+77	+76	+1

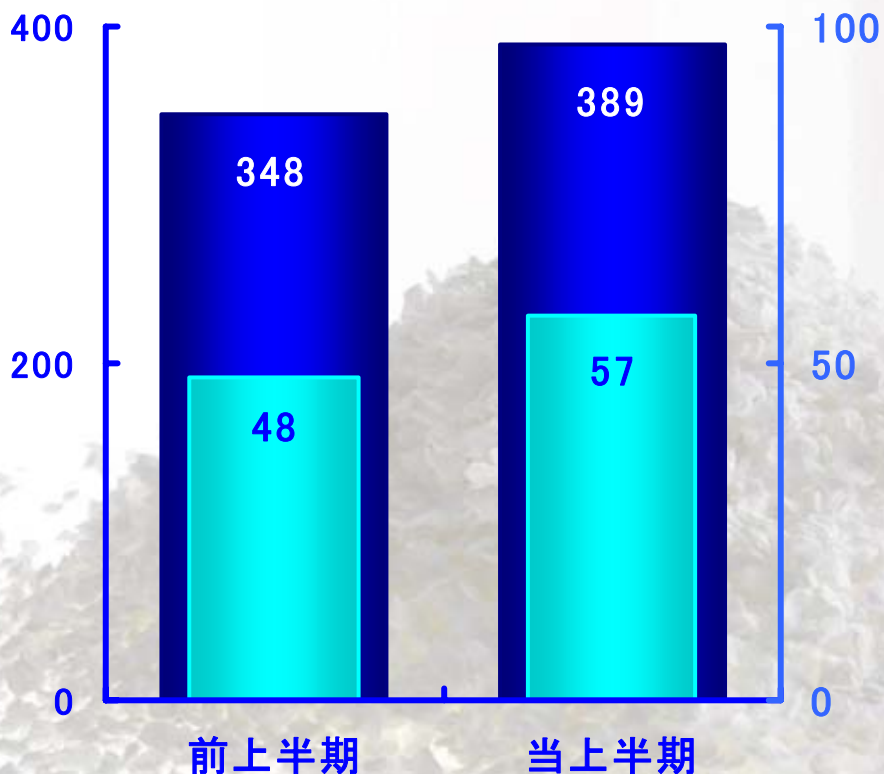
## 【営業利益】

単位：億円

	前上半期	当上半期	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	48	57	+9	+10	△2	+1
有機合成	49	64	+15	+15	△1	+2
合成樹脂	75	52	△23	+8	△23	△8
火工品	25	31	+6	+34	△9	△19
その他	3	4	+1	+1	-	-
全 社	△39	△39	△0	-	-	△0
合 計	161	169	+8	+68	△36	△24

# セルロース事業セグメント

(単位:億円)



■ 売上高 ■ 営業利益

## ☆売上高

・酢酸セルロース +30億円

数量増

(寧波大安化学の本格稼働で

西安恵大化学への販売は無くなったが、

LCD向けフィルム用が増)

・たばこフィルター用トウ +8億円

大竹工場 新設備の稼働が寄与し、数量増

円高の影響

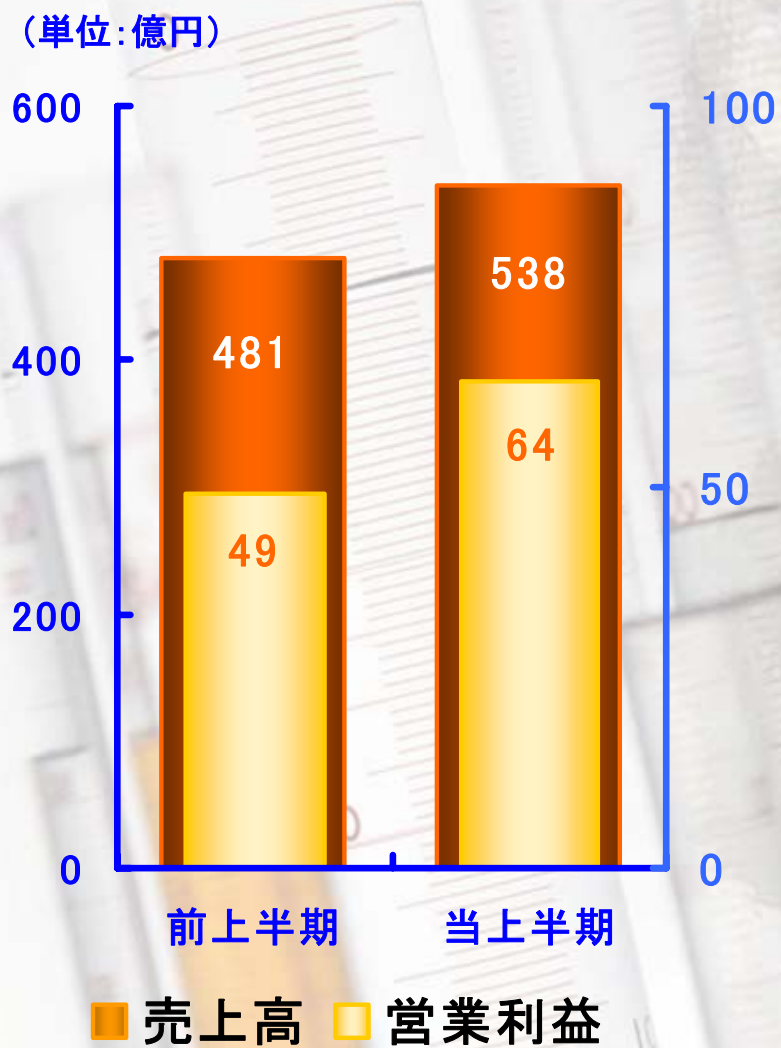
## ☆営業利益

・網干工場の操業度アップが寄与

(当年度は、定期修繕を実施しない年度)

・減価償却費増加 △38億円

# 有機合成事業セグメント



## ☆売上高

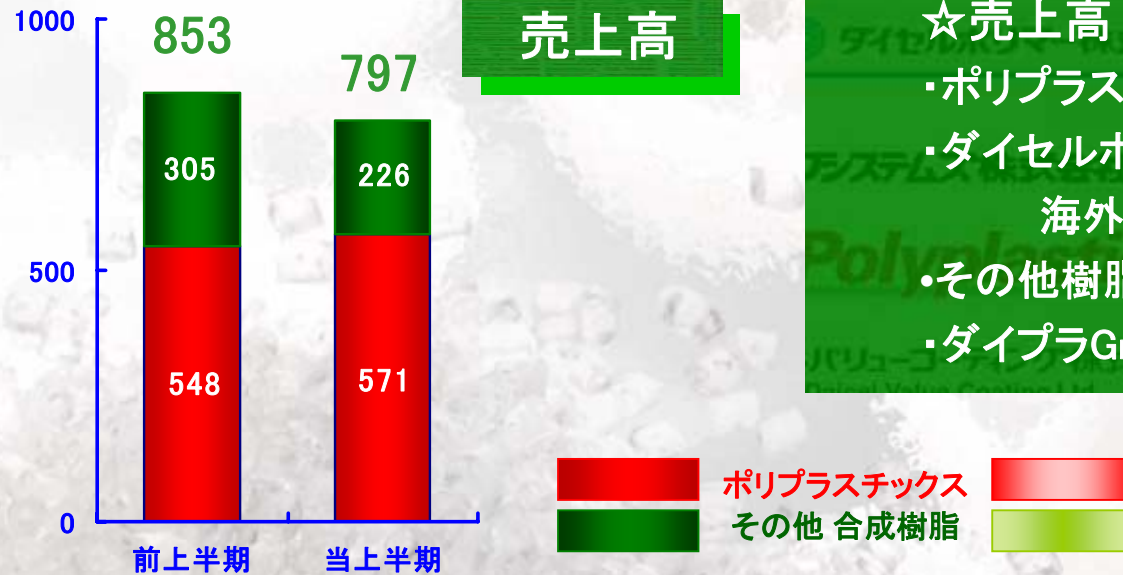
- ・酢酸 PTA向け需要の減少で横這い
- ・酢酸誘導品等汎用品と機能品 +58億円  
数量増と価格是正

## ☆営業利益

- ・網干工場操業度アップが寄与  
(当年度は、定期修繕を実施しない年度)
- ・減価償却費増加  $\Delta 2$ 億円

# 合成樹脂事業セグメント

(単位: 億円)



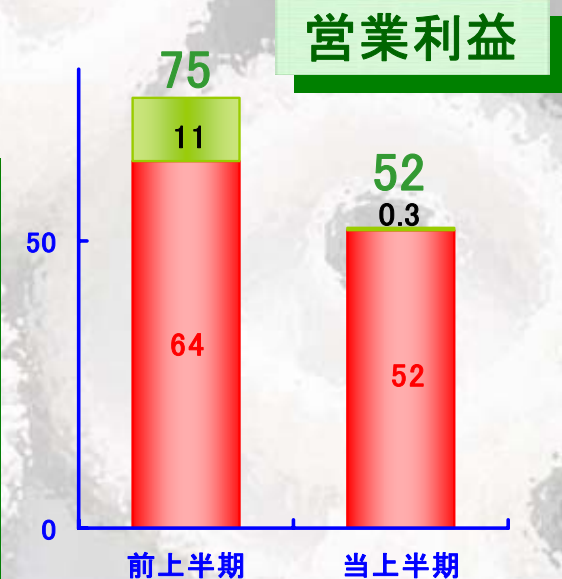
## 売上高

☆売上高

- ・ポリプラスチックGr. +25億円
- ・ダイセルポリマーGr. △ 4億円  
海外での販売数量 減
- ・その他樹脂成型加工等 + 3億円
- ・ダイプラGr. 連結除外 △79億円

## ☆営業利益

- ・ポリプラスチックGr. △13億円  
(円高の影響・原燃料価格高騰に販売価格是正が追いつかず)
- ・ダイセルポリマーGr. + 1億円
- ・TAP(COC事業) △10億円
- ・ダイプラGr. 連結除外 △ 2億円

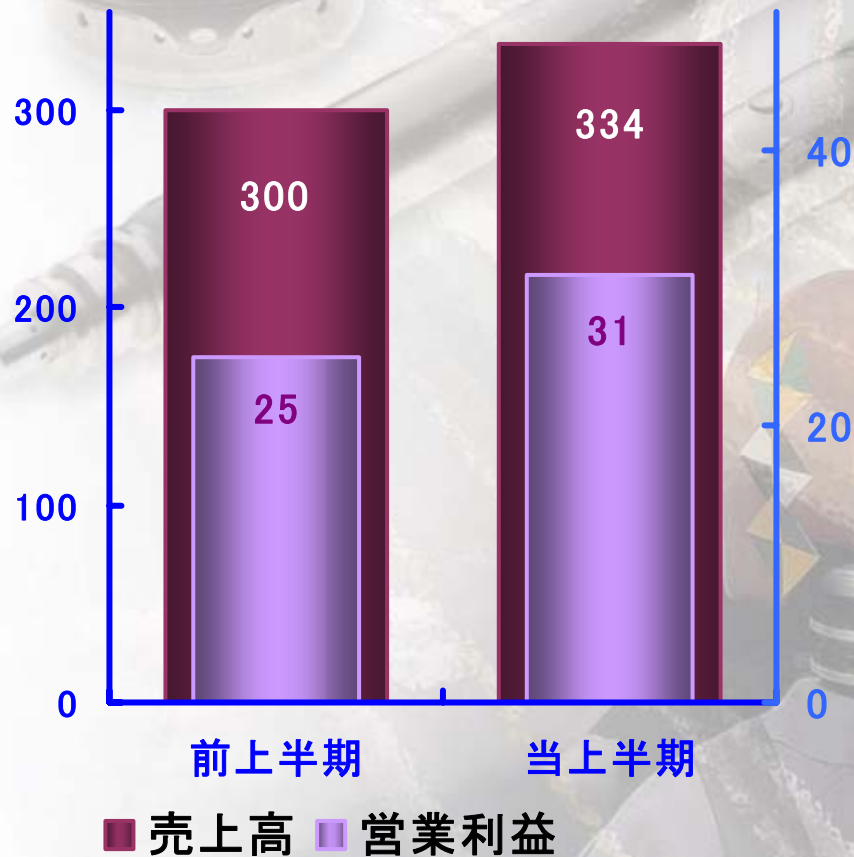


## 営業利益



# 火工品事業セグメント

(単位:億円)



## ☆売上高

### ・MSD事業

インフレーター販売数量増加 +34億円

(側突系エアバッグの標準装備化、  
海外製造拠点の本格稼動)

1,927 万個 ⇒ 2,411 万個 (+485万個)

### ・特機事業

緊急脱出装置関連の販売増 +1億円

## ☆営業利益

### ・MSD事業

海外製造拠点の本格稼動が貢献

国内: 部材調達コストアップ

# 2009年3月期業績見通し

## 前提条件

		前上半期実績		前下半期実績		当上半期実績		当下半期計画	
為替レート		120円		114円		105円		95円	
原料	メタノール (欧米コントラクト価格)	1Q	\$330	3Q	\$620	1Q	\$480	3Q	\$430
		2Q	\$310	4Q	\$730	2Q	\$485	4Q	\$370
	原油(ドバイ)	\$67		\$87		\$115		\$80	
	国産ナフサ	58,750円		64,150円		78,200円		60,000円	

# 2009年3月期業績見通し

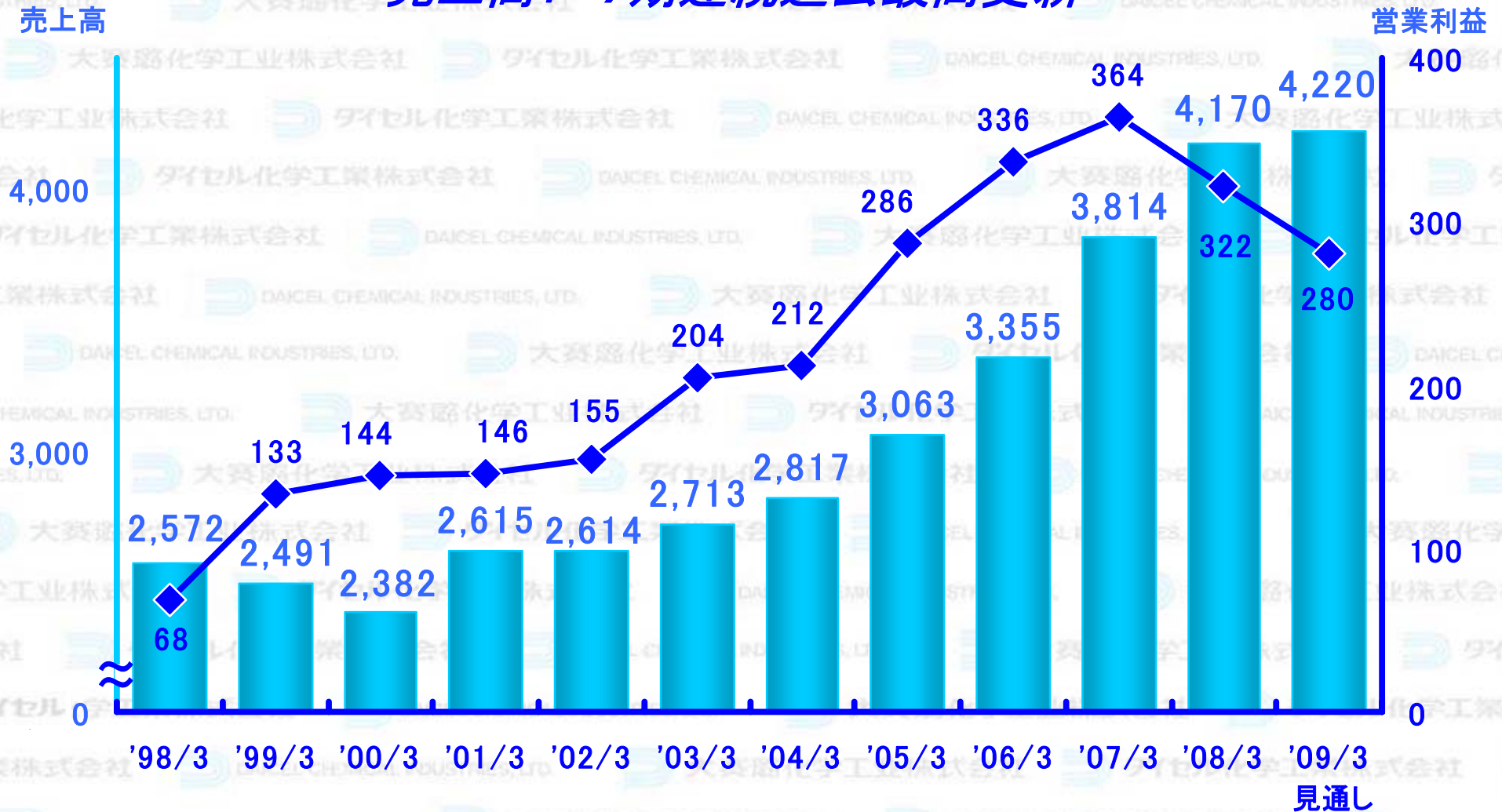
単位：億円

	前期実績	当期見通し	増減	増減率
売上高	4,170	4,220	+50	+1.2%
営業利益	322	280	△42	△12.9%
経常利益	279	260	△19	△6.7%
当期純利益	137	130	△7	△4.9%
為替レート	117円	100円		

# 売上高・営業利益の推移と見通し

(単位:億円)

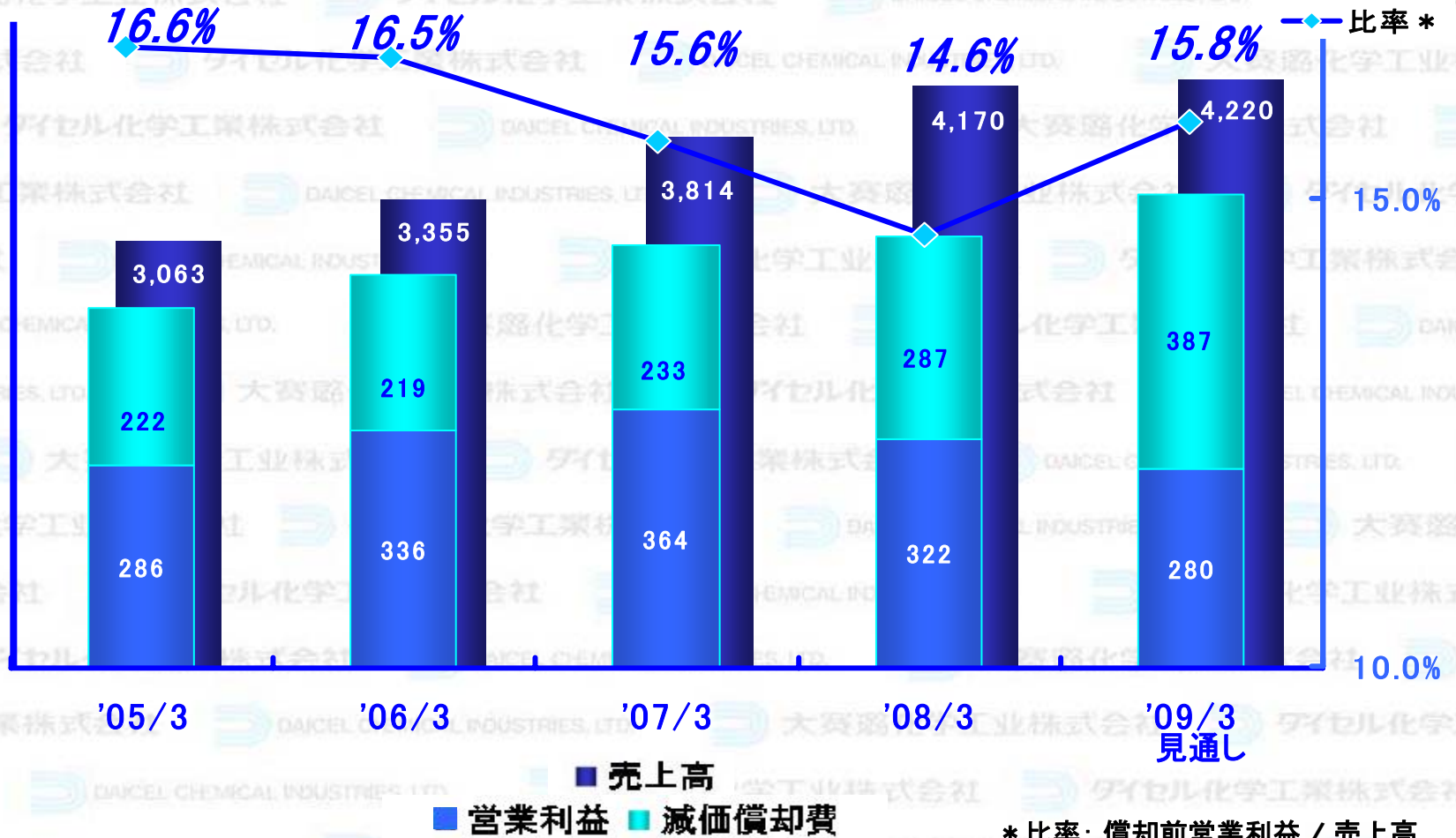
## 売上高: 7期連続過去最高更新



# 償却前営業利益推移

(単位:億円)

	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
売上高	3,063	3,355	3,814	4,170	4,220
償却前営業利益	508	555	597	608	667



# 売上高・営業利益分析

## 【売上高】

単位：億円

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見通し	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	725	803	+78	+65	+14
有機合成	1,012	1,078	+66	+33	+33
合成樹脂	1,713	1,604	△109	△125	+16
火工品	654	670	+16	+45	△29
その他	66	65	△1	△1	-
合 計	4,170	4,220	+50	+17	+33

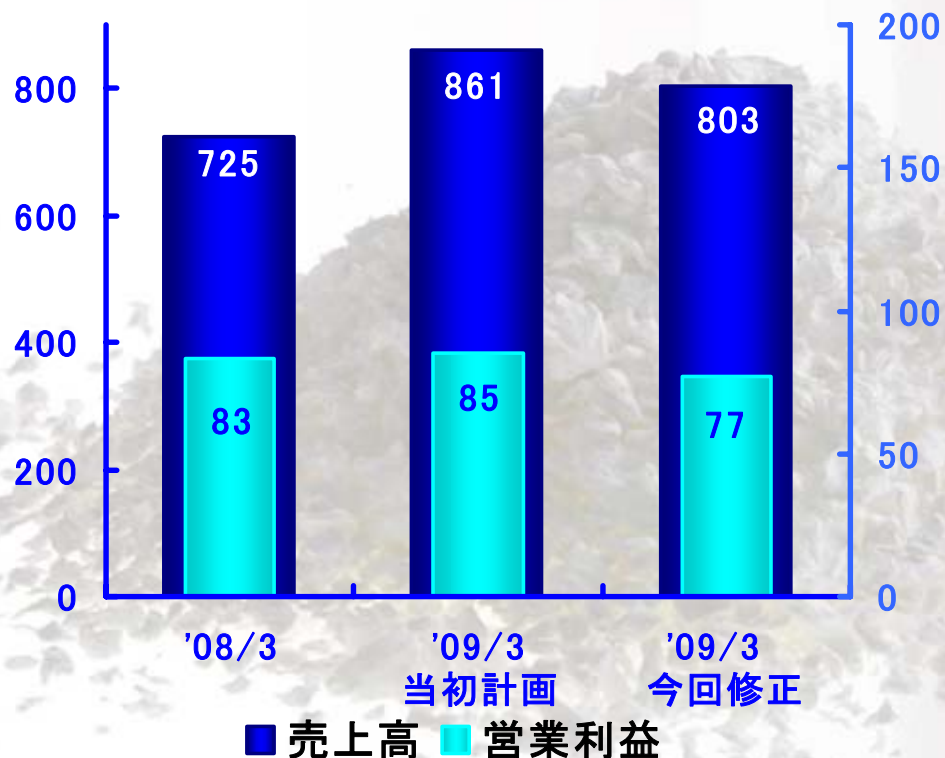
## 【営業利益】

単位：億円

	2008年3月期 実績	2009年3月期 見通し	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	83	77	△6	△16	+7	+3
有機合成	117	121	+4	+13	△8	△1
合成樹脂	143	98	△45	△2	△31	△11
火工品	56	58	+2	+28	△24	△3
その他	6	7	+1	+1	-	-
全 社	△83	△81	+2	-	-	+2
合 計	322	280	△42	+24	△55	△11

# セルロース事業セグメント

(単位:億円)

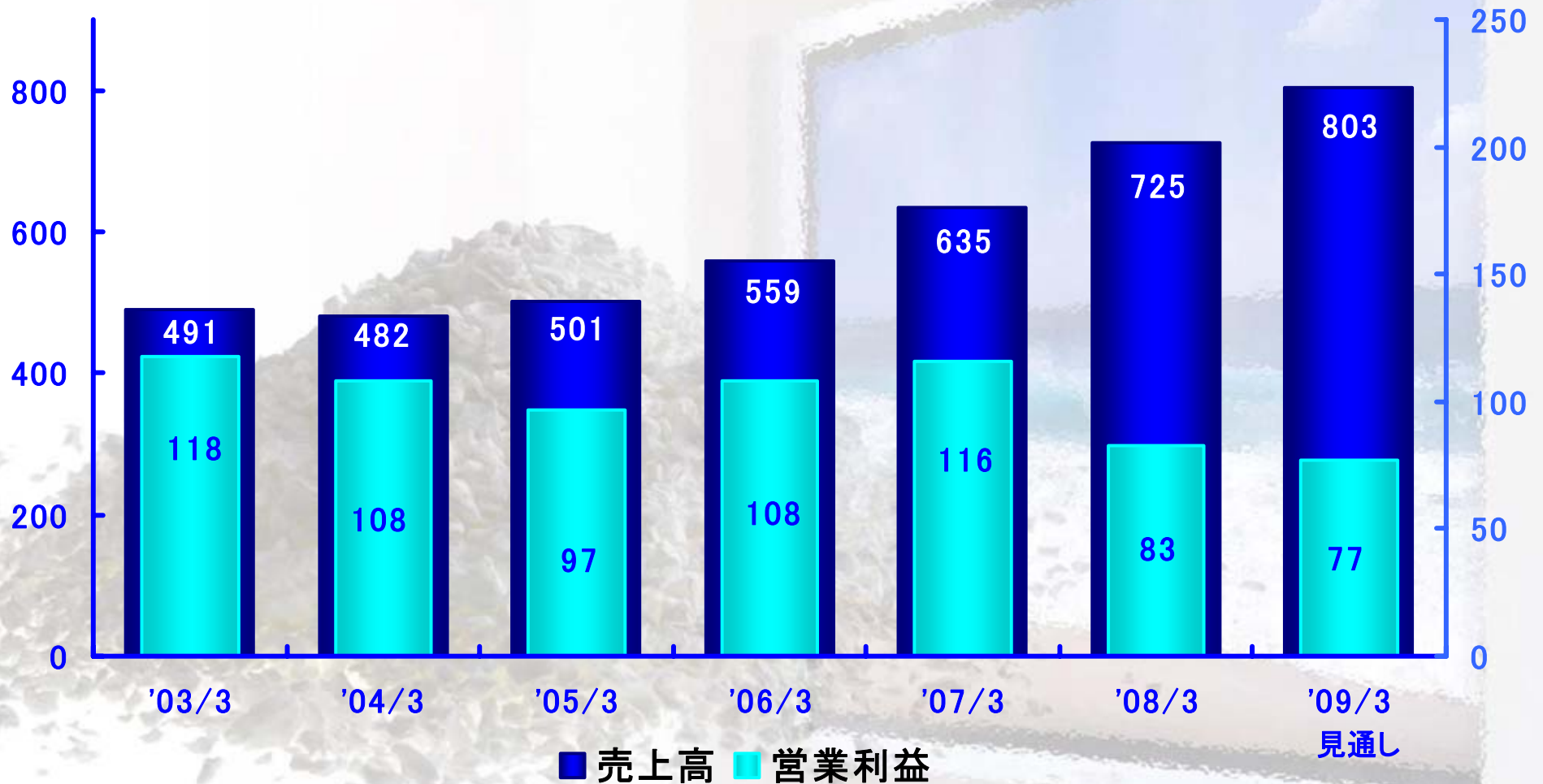


通期見通し

- 酢酸セルロース：  
LCD需要減に伴い  
TAC販売数量は、前年を若干下回ると予想
- たばこフィルター用トウ：  
為替の影響で輸出の手取り減少
- 減価償却費増加の影響

# セルロース事業セグメント

(単位:億円)





# 有機合成事業セグメント



通期見通し

- ・ 需要減による数量ダウン
- ・ 原燃料価格がスローダウン傾向

メタノール価格 下期 \$400/t

# 有機合成事業セグメント



# 合成樹脂事業セグメント

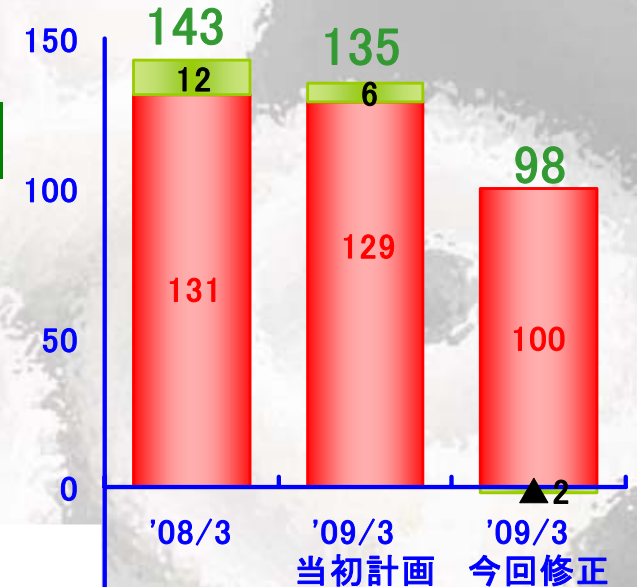
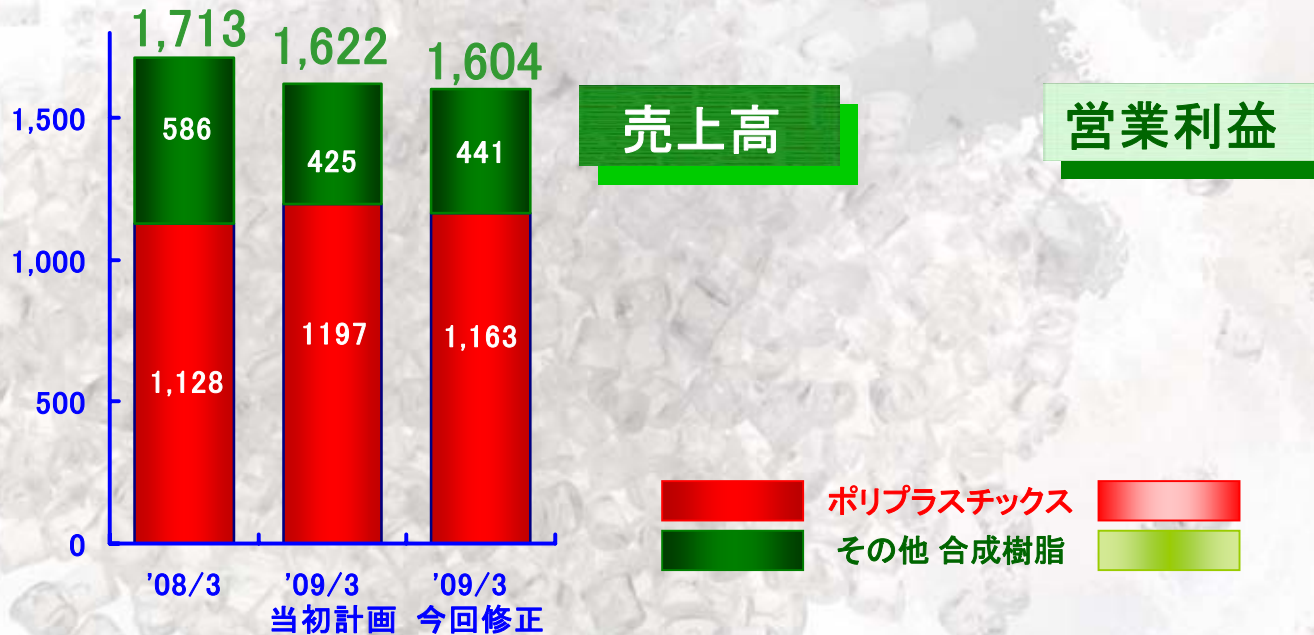
通期見通し： 営業利益大幅減益

- ポリプラスチックスGr.

メタノール価格が当初想定より高水準

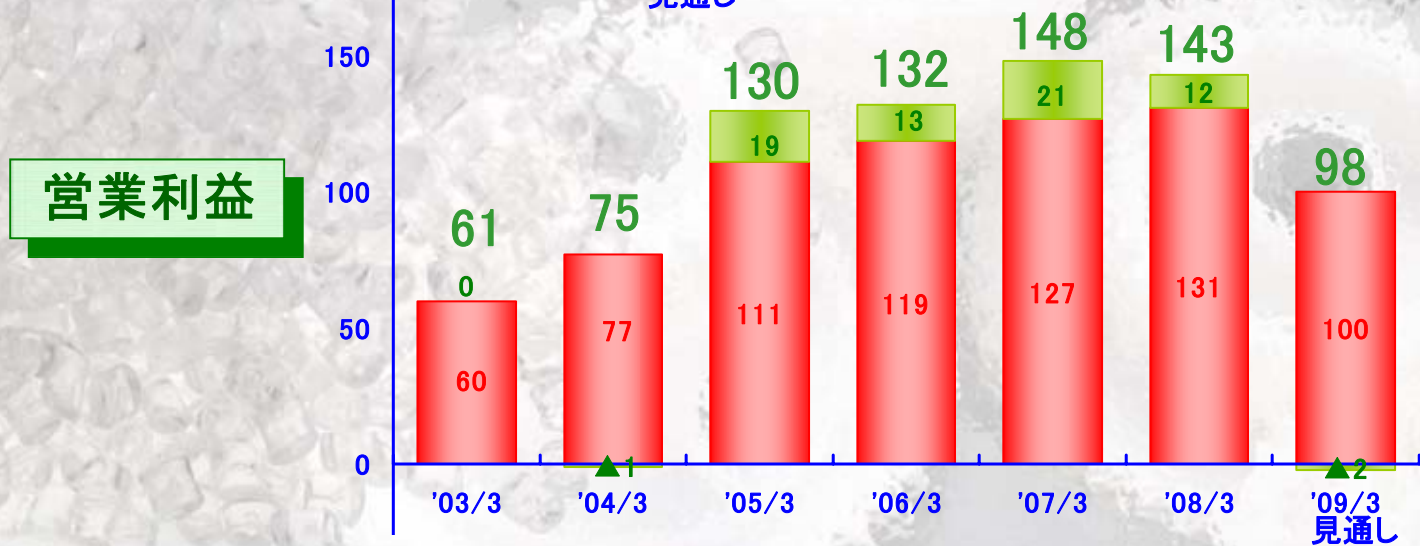
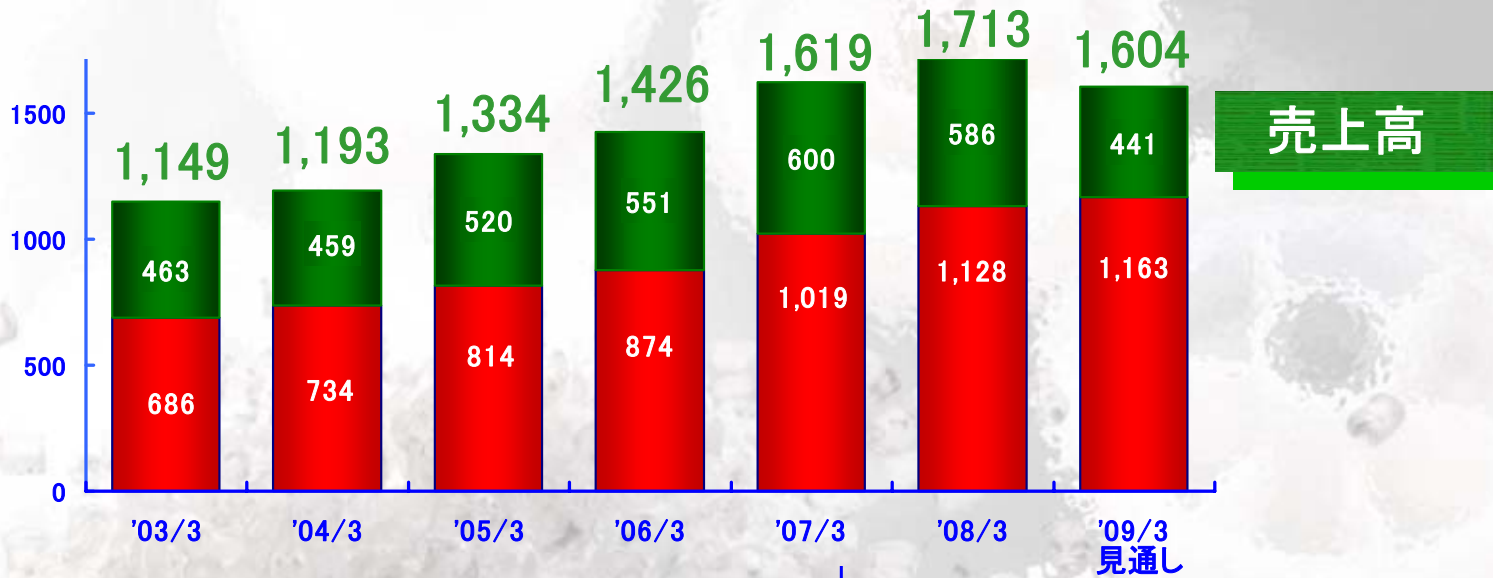
- COC事業・樹脂成型加工等：事業環境悪化
- 下期より 三国プラ 連結除外（10/1付でアロン化成に事業譲渡）

(単位:億円)



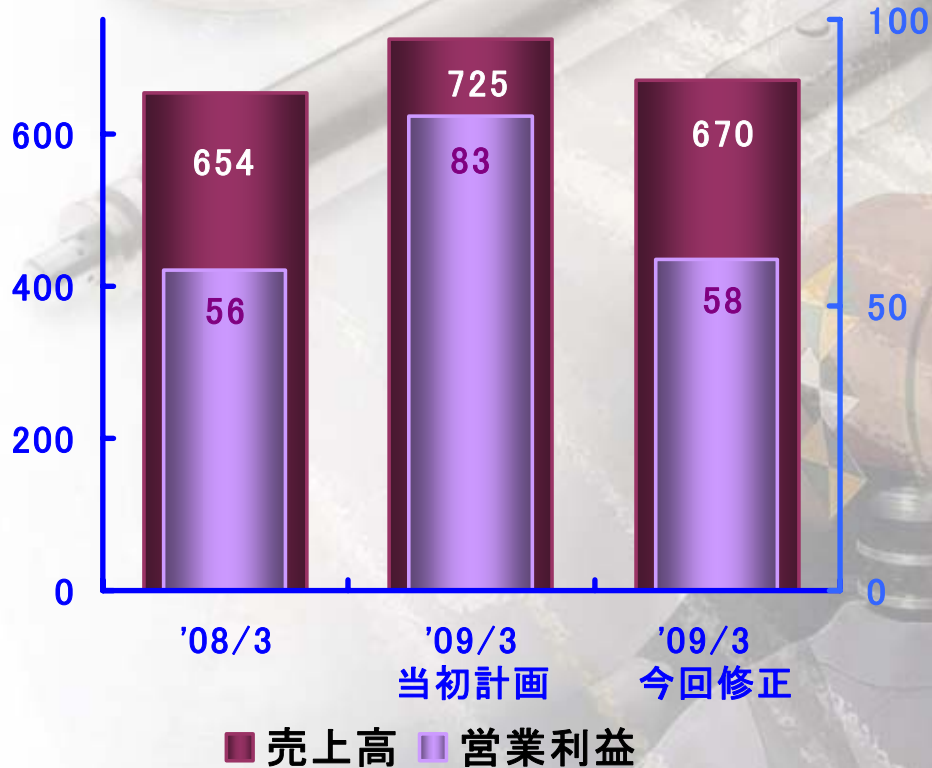
# 合成樹脂事業セグメント

(単位:億円)



# 火工品事業セグメント

(単位: 億円)



“We Save Lives”

DSS

“We Sa

通期見通し

インフレーター販売数量:

自動車的大幅減産の影響から

対前年+25%から +10%に見直し

(年間販売数量 4,700万個)

“We Save Lives”

“We Save Lives”

DSS

“We Sa

“We Save Lives”

DSS

“We Sa

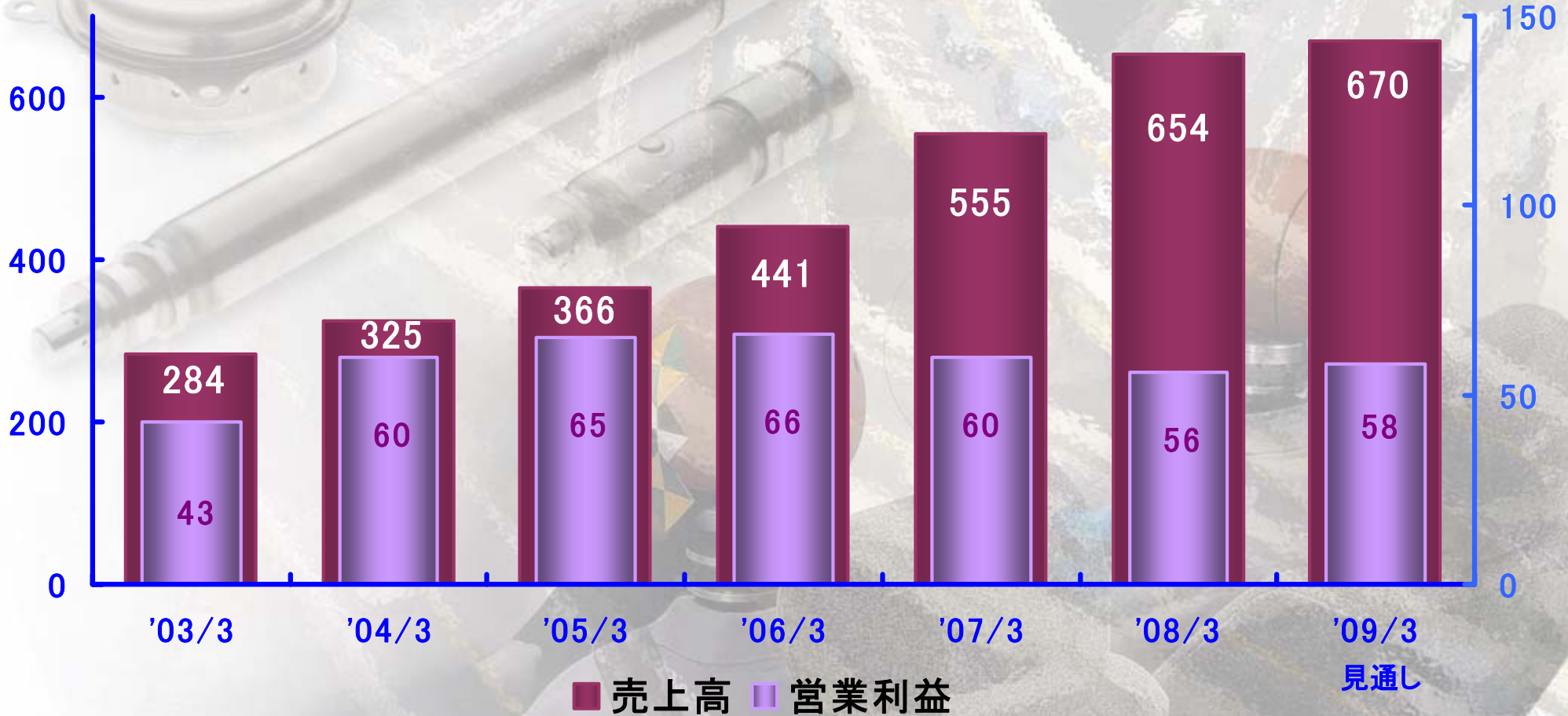
“We Save Lives”

DSS

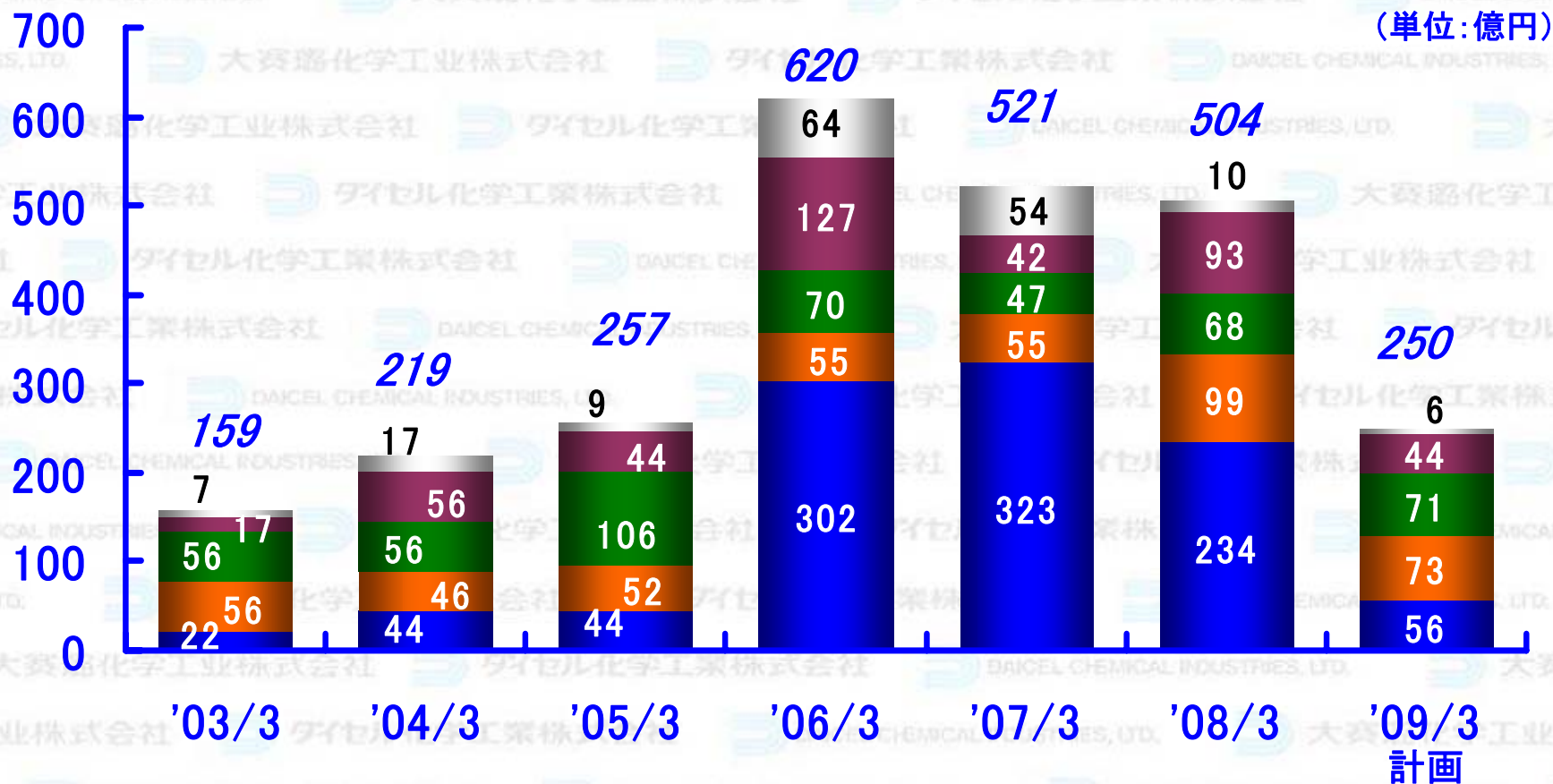
“We Sa

# 火工品事業セグメント

(単位:億円)



# 設備投資額推移

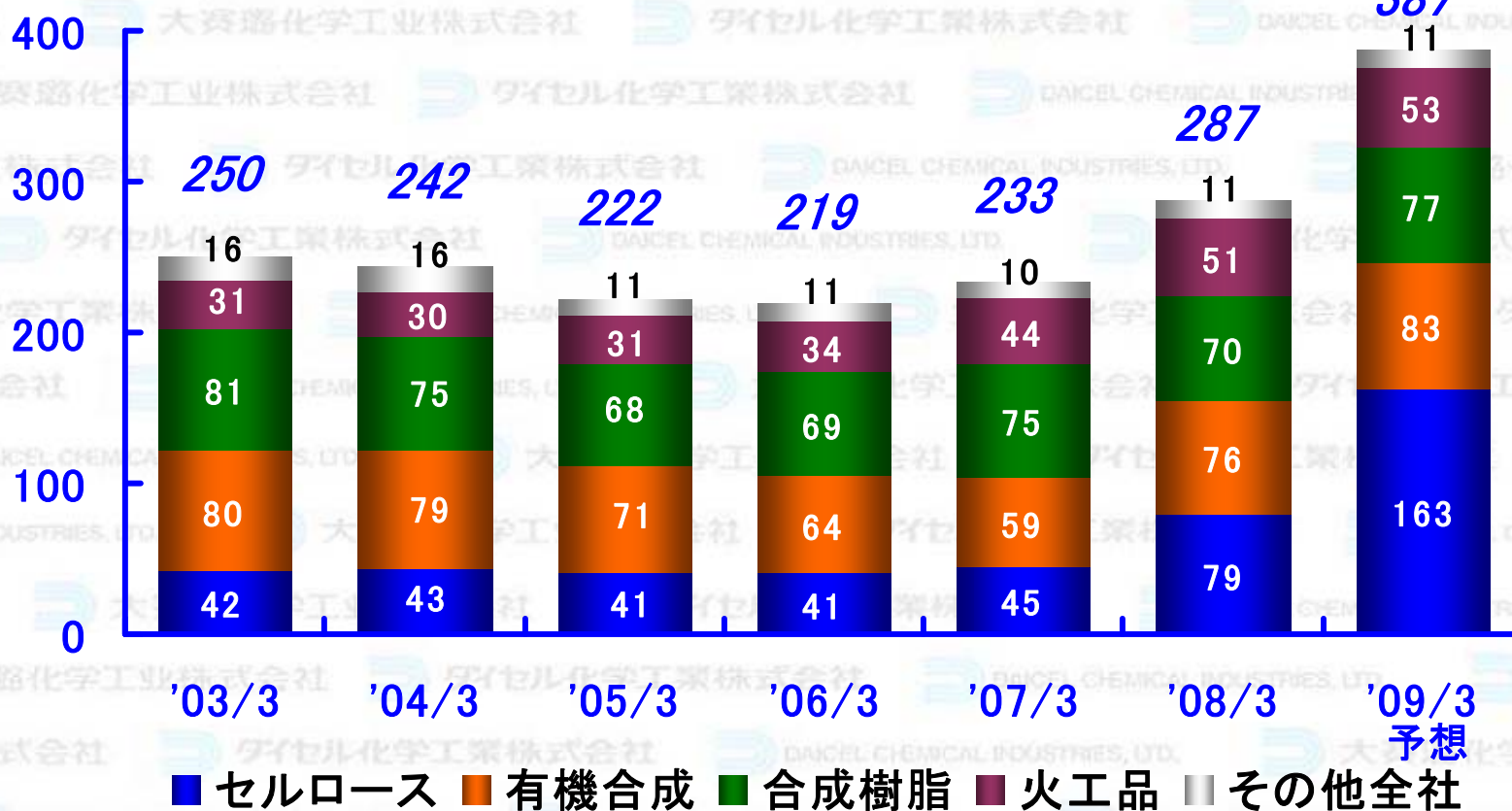


■ セルロース ■ 有機合成 ■ 合成樹脂 ■ 火工品 ■ その他全社

2009年3月期上期の設備投資額：138億円

# 減価償却費推移

(単位:億円)



2009年3月期上期 減価償却費 :168億円

09/3 上期 H.19年 税改正による影響 28億円

H.20年 税改正による影響 2億円

<参考>

08/3 上期 H.19年 税改正による影響 10億円

2009年3月期 減価償却費(予想) :387億円

09/3 通期 H.19年 税改正による影響 66億円

H.20年 税改正による影響 7億円

<参考>

08/3 通期 H.19年 税改正による影響 29億円



# 研究開発費推移

(単位: 億円)



■ セルロース ■ 有機合成 ■ 合成樹脂 ■ 火工品 ■ その他全社

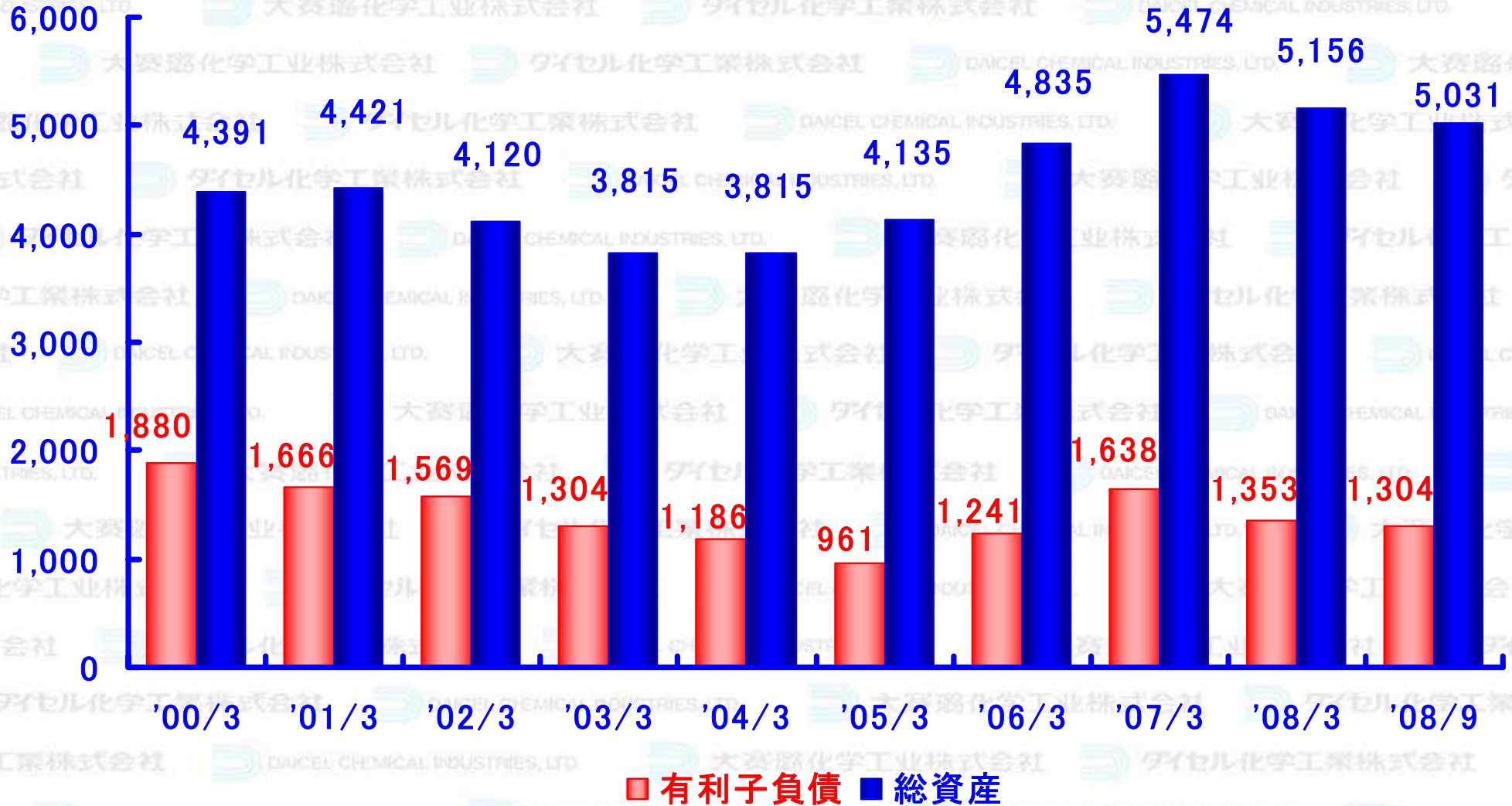
# 連結貸借対照表

単位: 億円

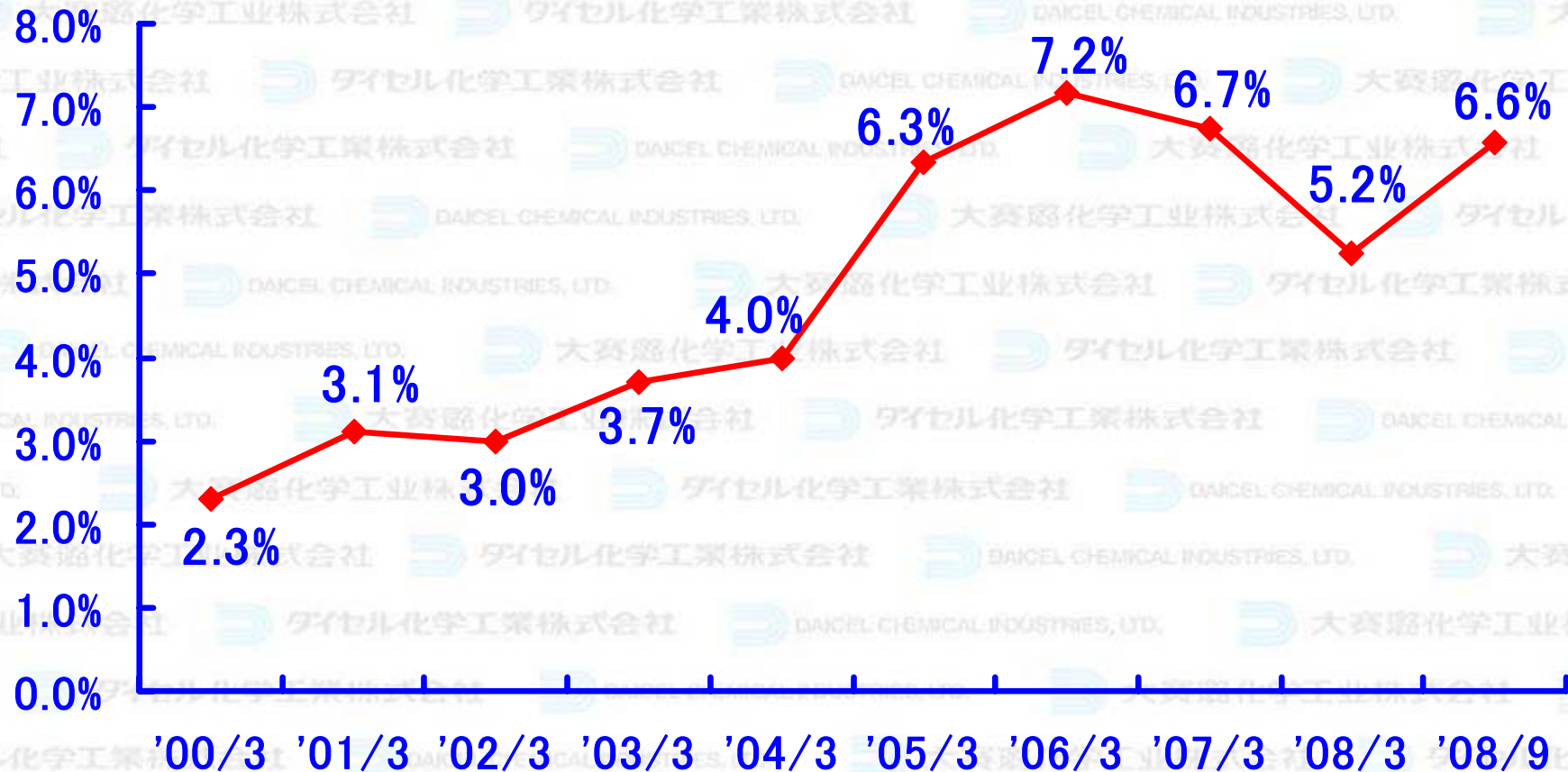
	2008年3月末	2008年9月末	増減	備 考
流動資産	2,078	2,104	+26	
現金及び預金	208	232	+24	
受取手形及び売掛金	905	852	△53	
棚卸資産	733	837	+104	
その他	232	183	△49	
固定資産	3,078	2,927	△151	
有形固定資産	2,229	2,166	△63	
無形固定資産	54	44	△10	
投資その他資産	795	717	△78	
資産合計	5,156	5,031	△125	
負債	2,765	2,639	△125	
有利子負債	1,353	1,304	△49	有利子負債比率 25.9%
その他	1,412	1,335	△77	
純資産	2,391	2,392	+1	
負債純資産合計	5,156	5,031	△125	

# 総資産・有利子負債推移

(単位:億円)



# ROA(総資産經常利益率)推移



# 予測に関する注意事項

★本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

★ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はダイセル化学工業(株)に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。